

令和4年度事業報告書

一般社団法人 日本消防放水器具工業会

第1 総 則 会員の動向

区 分	年度当初の会員数	退 会	入 会	令和5年3月末現在数
正 会 員	19	1	0	18
賛 助 会 員	10	1	0	9
計	29	0	0	27

第2 総会及び理事会

1 定時総会

第29回定時総会が、令和4年5月24日、港区新橋「田中田村町ビル6階」において開催され、次の議案が審議され承認された。

- 第1号議案 令和3年度事業報告書（案）承認の件
- 第2号議案 令和3年度収支決算書（案）承認の件
- 第3号議案 令和4年度事業計画書（案）承認の件
- 第4号議案 令和4年度収支予算書（案）承認の件
- 第5号議案 入会金及び会費規則改正案の件

2 臨時総会

第27回臨時総会が、令和4年9月2日、放水器具工業会事務室において Zoom 開催され、次の議案が審議され承認された。

- 第1号議案 工業会職員定年、および再雇用に係る
令和4年度 収支予算書修正（案）の件
- 第2号議案 入会金及び会費規則改正案の件
- 報告事項 横井製作所の初田製作所への合併について、横井会長より説明があり、事務局より名称変更で処理する旨の報告があった。

3 理事会

(1)第1回理事会が、令和4年5月11日、港区新橋「田中田村町ビル8階」において開催され、次の事項が協議され承認された。

- 協議事項1 令和3年度事業報告書（案）及び令和3年度収支決算書（案）
並びに監査報告の件の件
- 協議事項2 令和4年度事業計画書（案）及び令和4年度収支予算書（案）の件
- 協議事項3 入会金及び会費規則改正案の件
- 協議事項4 定時総会等の開催（案）の件
- 協議事項5 令和4年度長官表彰候補者推薦（案）の件
- その他（報告事項等）

- ① 全国消防機器協会からのからの情報提供等について

② 品質評価・認定評価の受検状況表について

(2) 第2回理事会が、令和4年7月14日、Zoom会議で開催され、次の事項が協議され承認された。

- 協議事項1 2023東京国際消防防災展への出展に関する件
- 協議事項2 職員の退職金および再雇用に関する件
- 協議事項3 「建築設備（計画・設計）基準 令和3年度版」における、改正についての意見等の取りまとめに関する件
- 協議事項4 帝国繊維株式会社からの質問書に関する件
- 協議事項5 創立記念事業(60周年)に関する件
- その他（報告事項等）
 - ① 一般社団法人 日本消防放水器具工業会 会員名簿について
 - ② 全国消防機器協会、令和4年度行事予定について
 - ③ 令和5年度各団体総会表彰式等開催について

(3) 第3回理事会が令和4年11月29日、東京都港区「新橋田中・田村町ビル会議室」において開催（Zoom併用）され、次の事項が協議され承認された。

- 協議事項1 令和4年度上半期収支報告書(案)の件
- 協議事項2 2023東京国際消防防災展の支払いに関する件
- 協議事項3 役員改選について（案）
- その他（報告事項等）
 - 職員の退職および再雇用、機器協会会長表彰候補者推薦依頼、全国消防機器協会からの令和4年度後半行事予定についての報告があった。

(4) 第4回理事会が令和5年2月27日、Zoom会議で開催され、次の事項が協議され承認された。

- 協議事項1 会員企業のM&Aにおける事務手続き等について
- 協議事項2 事務局長交代に関する件
- 協議事項3 令和5年度予算(案)の件
- 協議事項4 令和5年度全国消防機器協会会長表彰者推薦(案)の件
- 協議事項5 技術・業務委員会規程の改正（案）および委嘱手順に関する件
- 協議事項6 2023東京国際消防防災展への出展に関する件（案）
- 協議事項7 2023一般公開（案）に関する件
- 協議事項8 令和5年度定時総会および臨時総会（案）に関する件
- その他（報告事項等）
 - 東京消防庁からの事故防止の依頼に対する会員へ周知・再発防止策の検討、また、インボイス登録しない件、2023年役員改選における立候補届用紙郵送の件、業務委員会報告（案）および技術委員会報告（案）の件、各団体総会表彰式等開催日についての報告があった。

(5) 第5回理事会が令和5年3月27日、Zoom会議で開催され、次の事項が協議され承認された。

- 協議事項1 令和5年度予算（案）の件
- 協議事項2 令和5年度事業計画（案）の件
- 協議事項3 令和5年度工業会会長表彰候補者（案）の件
- 協議事項4 定時総会・表彰式の件
- 協議事項5 東京消防庁からの事故防止の依頼に対する対策について
- その他（報告事項等）
 - ① 役員改選立候補者の状況について
 - ② 機器協会からのからの情報提供等について

第3 事業・業務概要

1 審査関連業務

既設消火栓のホース互換性確認審査、およびアスピレートノズル技術審査の申請はなかった。

2 品質評価等の関連業務

(1) 日本消防検定協会が行う消火栓の認定業務、品質評価に係る諸問題について、検定協会業務企画室及び消火・消防設備課と随時協議を行った。また、消防機器等に関する研修会も東京と大阪で開催され、積極的に会員の参加を図った。

3 管理関連業務

易操作性1号消火栓のひとり操作表示シール「緑」の申込み受付、発送等の業務を行った。

4 会員との意見交換、情報提供等

(1) 情報提供

消防庁が発行する「消防白書」、「通知」、「案内」及び日本消防検定協会が発行する「検定協会だより」、「検定時報」、「通知」、「案内」並びに(一財)日本消防設備安全センターの発行する「月刊フェスク」、「通知」、「案内」等関係機関、関係団体、関係工業会の資料、情報等を会員に配布した。

(2) 功労者の表彰

- ① 令和4年度消防関係業界功労者表彰(消防庁長官表彰)は、高木幸一氏((株)立売堀製作所)および丸田豊実氏((株)横井製作所)の2名が受賞した。
- ② 令和4年度消防機器等関係者表彰((一社)全国消防機器協会会長表彰)は、後藤昭広氏((株)建設工業社)、渡邊良夫氏(ヤマトプロテック(株))、野口修氏((株)横井製作所)、沖田祐介氏(YONE(株))の4名が受賞した。
- ③ 令和4年度(一社)日本消防放水器具工業会会長表彰は、星川和彦氏(芦森工業(株))、林英教氏・沼田義之氏(以上,(株)立売堀製作所)、向日佑介氏((株)北浦製作所)、阿部昭則氏((株)建設工業社)、山越和也氏(帝国繊維(株))、島村諭央氏(東京サイレン(株))、遠藤辰基氏(ヤマトプロテック(株))、喜田信充氏・樺典子氏(以上,(株)横井製作所)及び米田哲三氏(YONE(株))の11名が受賞した。

(3) 親睦、講演会等

定時総会、臨時総会、研修会等において会員相互の意見、情報交換を行い、親睦を深める予定であったが、新型コロナウイルス拡大防止の観点から縮小開催、あるいは中止となった。

第4 関係機関、関係団体との連絡、協力

1 消防庁及び東京消防庁等との連絡、協力

- (1) 消防庁、東京消防庁及び国土交通省が主催する会議へ出席するところ、令和4年度は中止となった。
- (2) 消防庁の実施した春秋2回の全国火災予防運動では、その実施に先立ち予防運動の高揚を図った。
- (3) 消防庁に届出する「自主表示対象機械器具等表示一覧表」を届出された会員へ個別に発送した。

2 日本消防検定協会との連絡、協力

- (1) 日本消防検定協会が主催する消防機器業務懇談会(令和4年4月、明治記念館)は中止となり、「工業会としての重点事業・トピックス」を提出した。
- (2) 日本消防検定協会からの通知、連絡事項及び資料等は、その都度関係会員に伝達し協力を図った。

- 3 一般財団法人日本消防設備安全センターとの連絡、協力
 - (1) 消火栓等開閉弁の認定業務に対する連絡、情報交換及び消防製品 PL センター業務の推進に協力した。
 - (2) 日本消防設備安全センターからの通知、連絡事項及び資料等は、その都度関係会員に伝達し協力を図った。
 - (3) 消防設備の経年劣化に対応した点検方法等検討会に参画し、情報の提供を行った。
- 4 一般社団法人 全国消防機器協会との連絡、協力
 - (1) (一社)全国消防機器協会からの通知、連絡事項および資料等は、その都度関係会員に伝達し協力を図った。
 - (2) 褒章、消防関係業界功労者表彰（消防庁長官表彰）、消防機器等関係者表彰（(一社)全国消防機器協会会長表彰）の上申等に当たり綿密に連携し各々の表彰受章に寄与した。
 - (3) (一社)全国消防機器協会に設置されている社会貢献委員会及び 消防機器等製品情報センターの運営会議に出席し消防設備に関する研修会への情報提供を行った。
- 5 関係工業会との連絡、協力
 - (1) (一社) 全国消防機器協会主催の事務局長会議等において各工業会との情報交換を行った。
 - (2) 自主表示届出番号制度、屋内消火栓用の交換ホースについて（一社）日本消防ホース工業会、(一社)日本消火装置工業会と随時協議し情報交換を行った。

第5 調査研究

- 1 アスピレートノズル付広範囲型2号消火栓の啓蒙活動
消火能力が優れているとされるアスピレートノズルを、広範囲型2号消火栓の標準ノズルと位置づけし普及すべく啓蒙活動を実施した。
 - (1) 放水時の使いやすさや放水反力の少なさを体験いただくために、科学技術週間における試験施設の一般公開において、広範囲型2号消火栓の展示、及び放水体験を実施する予定であったが、中止となった。
- 2 保形ホースの経年劣化における調査
日本消防ホース工業会と合同で、保形ホースの点検基準改正への手順、交換を促す啓蒙活動の内容、及びその方法等を協議した。
 - (1) 保形ホースの点検基準改正への促進
改正の根拠となる保形ホースの劣化調査を行うために、防火対象物に20年以上設置された簡易型消火栓から保形ホースのサンプリングを行い、当該ホースの耐圧試験、物性試験等の性状に関する劣化状況の取り纏めを行った。
- 3 新たに機能を向上させた屋外消火栓の研究・開発
技術委員会の下に消火栓機能向上研究委員会を組織し、一般財団法人日本消防設備安全センターの助成金を受け、新たに機能を向上させた屋外消火栓の研究・開発を行い、報告書を作成した。